



注意
本製品は空気を入れてボディの形を作るモデルです。
鋭利なものや先の尖ったものでボディが傷つき穴が
開くと、使用できなくなります。取り扱いには十分
ご注意ください。

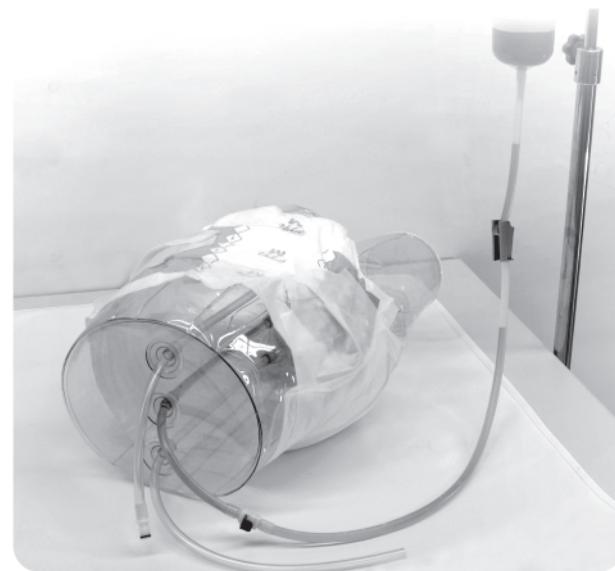
MW23

おむつ交換トレーニングモデル



目 次

●はじめに	P.1
●ご使用の前に	
セット内容	P.2
●実習の準備	P.3
●実習	P.4-P.7
●後片付け	P.8-P.9



動画サイト



日本語サイト

はじめに

はじめに

このたびは、当社の「おむつ交換トレーニングモデル」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、おむつ交換の手技上達を目的としたシミュレーションモデルです。看護・介護教育の実習教材としてご使用ください。

●特長

- 適切におむつをあてるランドマーク付きです。
- 模擬尿や模擬水様便を流すことが可能です。
- おむつの内側が確認できる透明モデルです。
- 男女を想定したトレーニングが可能です。

●必ずお読みください

- ・本製品は、看護・介護での教育・研修を目的として製作されたモデルです。本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また、説明書に記載された方法以外でのご使用による万が一の破損や事故の場合、当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ・ご使用の際に不具合等がございましたら、お手数ですがお買い求めの販売店もしくは株式会社京都科学までご連絡ください。

⚠ 注意

●取り扱いにご注意ください。

本製品は空気を入れてボディの形を作るモデルです。鋭利なものや先の尖ったものでボディが傷つき穴が開くと、使用できなくなります。実習は机やベッドなど、平らな場所で行ってください。空気の入れすぎは、破損の原因となります。また各部品の脱着の際、無理な負荷がかかりますと破損しますので十分ご注意ください。（※上記の理由で破損した場合、対応しかねます）

●印刷物をモデル表面におかないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。表面にインクが吸収されて消えなくなります。

●ボールペンやサインペンで書き込まないでください。

サインペン、ボールペンなどでモデルに書き込むと、インクが吸収されて消えなくなります。

●水または中性洗剤で拭き取ってください。

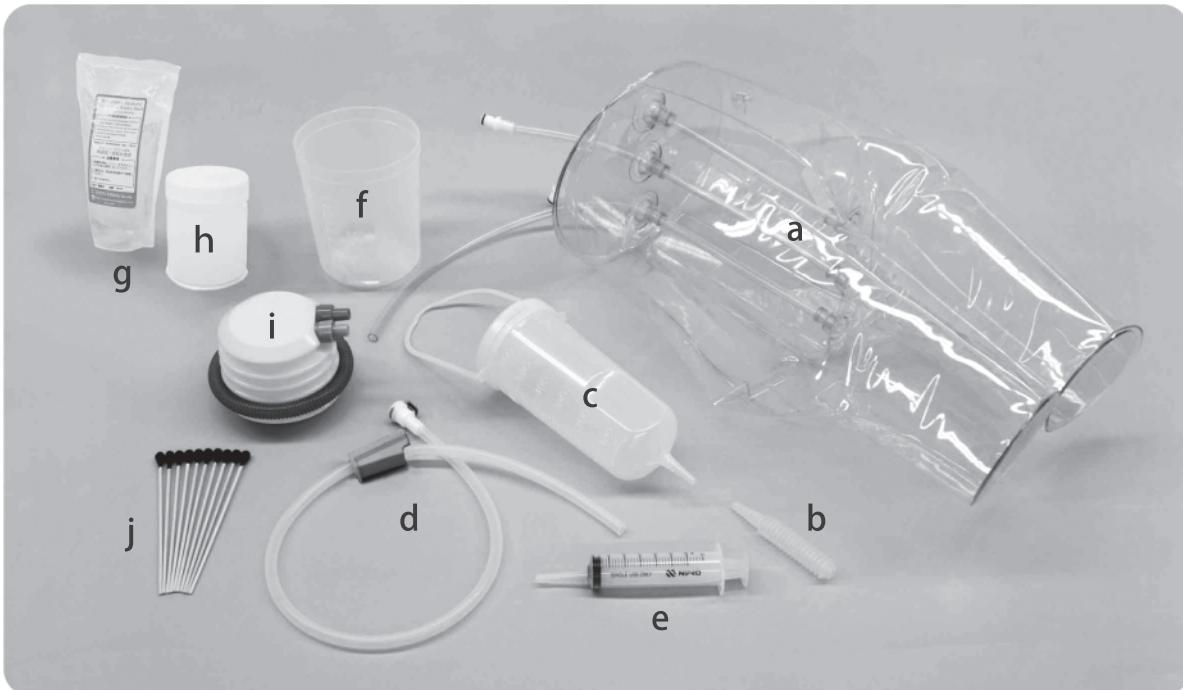
モデルの汚れは水又は中性洗剤で拭き取ってください。シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。

●高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿や直射日光のある場所での保管は避けてください。変形や劣化の原因となります。

セット内容

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



- | | | |
|---------------------|--------------------------------|--------------------|
| a. モデル本体 1点 | e. カテーテルチップシリンジ 1点 | i. エアポンプ 1点 |
| b. 男性性器 1点 | f. ディスポカップ 1点 | j. 模擬尿(綿棒タイプ) 10本組 |
| c. イルリガートル 1点 | g. 模擬水様便(パック入り 150mL) 1点 | 取扱説明書 |
| d. 接続チューブ 1点 | h. 模擬水様便用ボトル 1点 | |

消耗品
一覧

コード番号	部品名
11402-010	模擬尿(綿棒タイプ 10本組)
11229-070	模擬水様便(150mL× 3袋)



模擬尿(綿棒タイプ 10本組)



模擬水様便(150mL× 3袋)

1 モデル本体の準備

- 臍部にある空気栓にエアポンプのホースを差し込み、ポンプを手で押して空気を注入し、栓をしてください。空気の量は外周部にシワが少し残るぐらいにとどめてください。



エアポンプは、エアを入れる場合はジャバラホースを「青」に、エアを抜く場合は「赤」の弁に差し込みご使用ください。

実習は机やベッドなど、平らな場所で行ってください。鋭利なものや先の尖ったものでボディが傷つき穴が開くと、使用できなくなります。

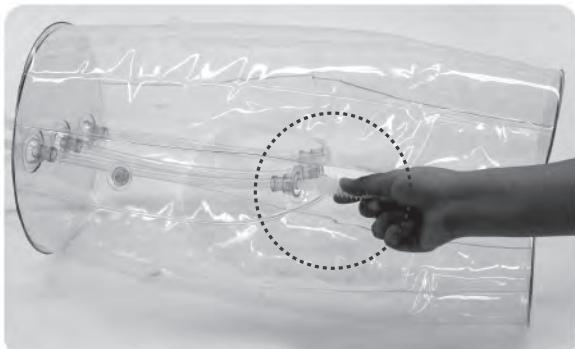
- 空気が入ったら空気栓をしっかりと差し込み、さらに本体内部へ押し込んでください。両足を左右に開いて、開き具合の確認をします。開きにくい場合は少し空気を抜いてください。



空気を入れる場合は、付属のエアポンプをご使用ください。付属以外のポンプを使用すると破損の原因となることがあります。

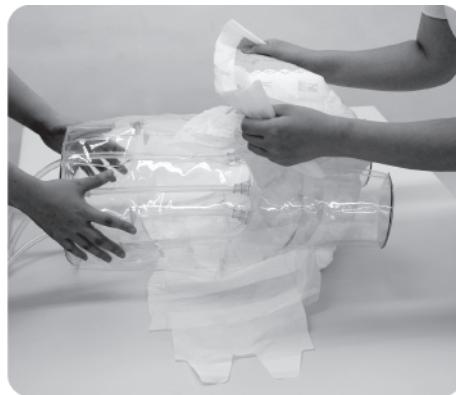
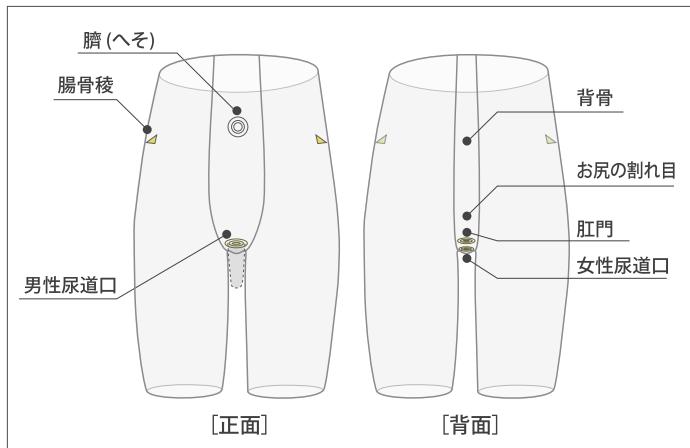
空気の入れすぎは、破損の原因となります。

- 男性のトレーニングの場合は付属の男性性器を、男性の尿道口部に差し込みます。

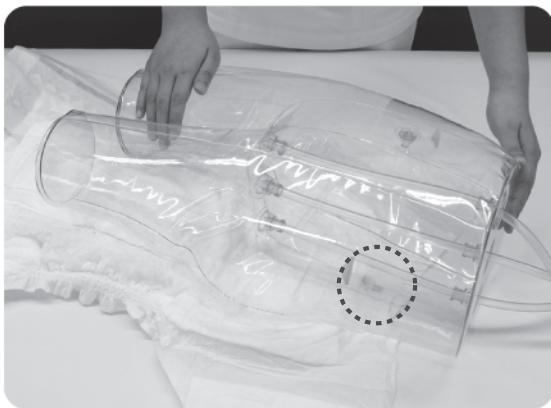


1 おむつをあてる

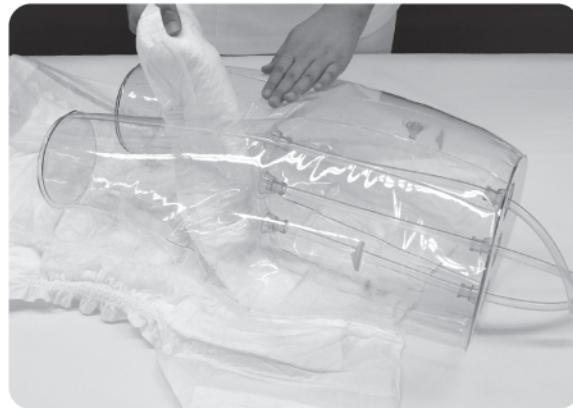
1. このモデルにはおむつを適切に当てるためのランドマークがあります。おむつとパッドをあてる手順を、体の部位を確認しながらトレーニングすることで上達につながります。
おむつをあてるときは、モデルが不用意に動かないよう、他の人にモデルに手を添えて支えてもらい実習を行ってください。



① 体の中心(背骨)におむつの中心を合わせる



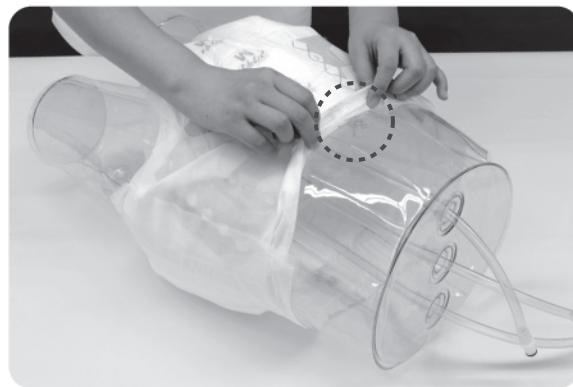
② お尻の割れ目に沿ってパットをあてる



③ 肋骨稜の位置に上側テープをとめる



④ 脇(へそ)周辺を圧迫していないか確認する



※写真はおむつのあて方が分かりやすいように一人で作業を行っていますが、実習時は他の人にモデルを支えてもらいながらトレーニングを行ってください。

実 習

模擬尿・模擬水様便を流す

1 模擬尿の準備

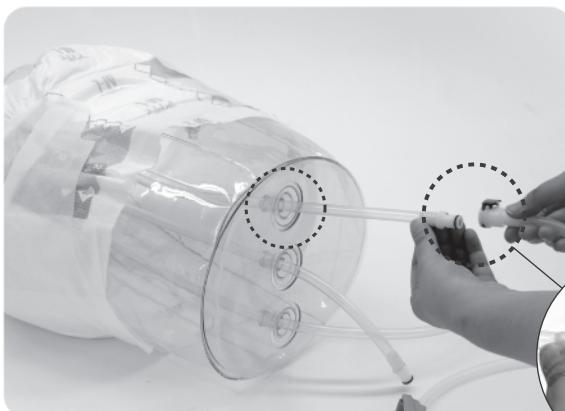
- ディスポカップに水 1000mL を入れ、その中に模擬尿（綿棒タイプ）を 1 本入れ、しっかりととかきませ
模擬尿を作成します。



模擬尿は衣服についたりすると、シミになって、取れなくなる場合がありますので、十分ご注意
ください。

2 模擬尿を流す

- おむつをあてた後、接続チューブをモデル本体のチューブに接続してください。接続チューブは、
コネクターの付いている側を力チッと音がするまで差し込みます。



男性の場合：臍部に一番近いチューブ



女性の場合：中央のチューブ

実 習

模擬尿・模擬水様便を流す

② 模擬尿を流す

2. 接続チューブとイルリガートルを接続し、ローラークレンメを閉じ、模擬尿が流れない状態にします。イルリガートルに模擬尿を入れ、ガートル架等に吊るします。残った模擬尿は実習中の補充用としてとっておきます。

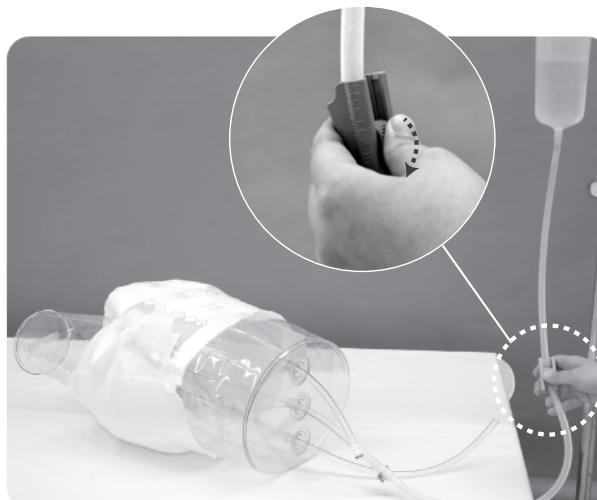


3. ローラークレンメを開いて、模擬尿を流します。ローラークレンメの開き具合で排尿の速さを調節できます。おむつへの尿の広がりを観察することで、おむつのあて方が適正であったかどうかを判断できます。



【続けて実習を行う場合】

1. おむつを外す前にローラークレンメを閉じ
モデルを傾けてチューブ内に残った模擬尿をおむつに吸収させてください。
それからおむつを外し、モデル本体に付着した模擬尿を拭き取ってください。
2. モデルが乾燥後、改めておむつ装着の実習を行います。イルリガートル内の模擬尿はなくなった場合は補充して実習を行ってください。



実習

模擬尿・模擬水様便を流す

3 模擬水様便の準備

1. 切れ込みから模擬水様便を開封します。
2. 付属のボトルに入れます。
3. 付属のシリングに取り込みます。

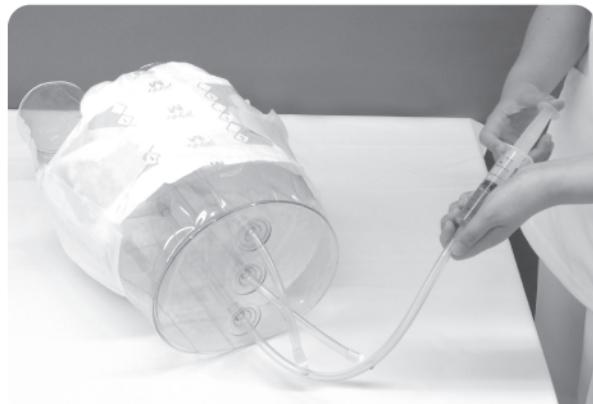


注意

- ・模擬水様便は材料の特性上、粘度が変わる事があります。
粘度が高い時：少量の水を入れ、割り箸等で良く攪拌し粘度を調整してください。
- ・模擬水様便は長時間、空気に触れる事で乾燥しますので、使用後は必ず、容器の蓋を強く締め、密閉して保管してください。
- ・模擬水様便は着色されていますので、シーツ、衣類等に付きますと落ちませんので十分ご注意ください。

4 模擬水様便を流す

1. 肛門につながっているチューブに模擬水様便が入ったシリングを差し込み、模擬水様便を注入します。そして一旦シリングを抜いた後、シリング内に 30mL 程度空気を入れます。再度チューブに差し込み、空気を押し入れてください。



【続けて実習を行う場合】

1. おむつを外す前にモデルを傾けてチューブ内に残った模擬水様便をおむつに吸収させてください。それからおむつを外し、モデル本体に付着した模擬水様便を拭き取ります。
2. モデルの乾燥後、改めておむつ装着の実習を行います。模擬水様便を流す場合は、改めてシリングに模擬水様便をセットして実習を行ってください。

後片付け

後片付け

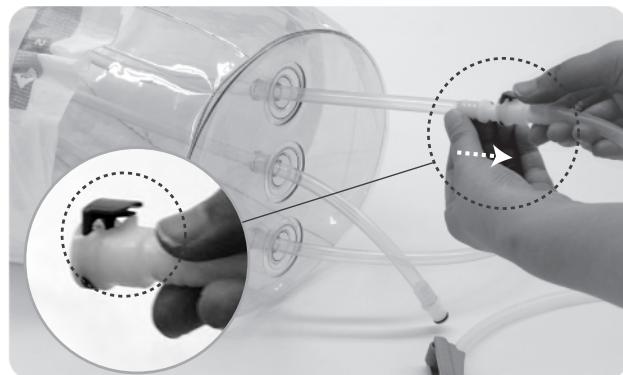
1 後片付け

【模擬尿の洗浄】

1. 実習後、イルリガートルに残った模擬尿を廃棄し、ローラークレンメを閉じてからイルリガートルに改めて水を500mL入れ、ローラークレンメを開いて水を流します。

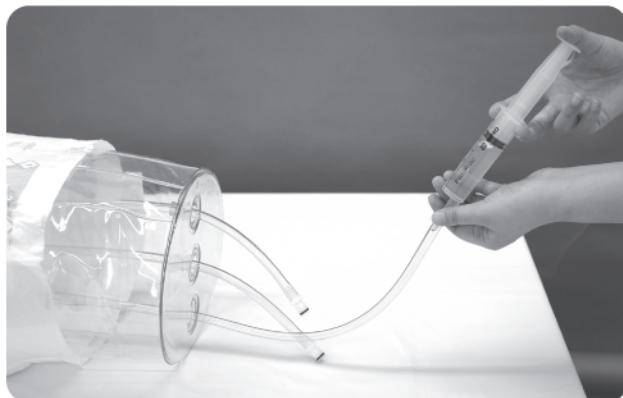


2. 洗浄後、接続チューブのコネクターの突起を押して、モデル本体のチューブから接続チューブを取り外してください。おむつをはずし、モデル本体や接続チューブに付着した模擬尿を拭き取ってください。
それから自然乾燥してください。



【模擬水様便の洗浄】

1. 附属のシリンジでチューブ内に水を注入し、きれいになるまで洗浄してください。モデル本体に付いた水分を十分ふき取ってください。
その後自然乾燥してください。



注意

実習終了後、チューブ内に残っている模擬水様便は、長時間放置されると、乾燥し洗浄し難くなりますので、速やかに洗浄してください。

長時間モデル本体のチューブ内の水を抜かず保管していると、チューブが白くなることがあります、水を抜いて乾燥させると元に戻ります。

① 後片付け

【収納】

乾燥後、直射日光を避け、冷暗所で保管してください。箱の中に収納する場合は、下記の方法で収納します。

1. モデル本体の空気を抜いて、両足を折りたたみます。



2. 気泡緩衝材の袋にモデル本体以外の構成品を入れ、段ボールに入れてください。



3. その上に、モデル本体を置き、モデルと両足のPVC素材がくっつかないよう紙を巻いてください。チューブが折れないよう仕切りを入れて、保管してください。



注意

- ・箱に収納しない場合、高温多湿な場所でモデル本体を保管すると、変形し破損の原因となります。
- ・空気を充填させた状態で保管すると、破損する可能性があります。
- ・空気を抜きすぎた状態で収納すると、チューブに折れぐせがつく可能性があります。



本製品は空気を入れてボディの形を作るモデルです。鋭利なものや先の尖ったものでボディが傷ついて穴が開くと、使用できなくなります。取り扱いには十分ご注意ください。

・ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。



URL ● <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail ● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寢小屋町15番地
TEL:075-605-2510(直通)
FAX:075-605-2519

■東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL:03-3817-8071(直通)
FAX:03-3817-8075